

世界の特別支援教育(22)

Special Needs Education of the World (22)

平成20年3月

March 2008

独立行政法人

国立特別支援教育総合研究所

序 文

昨年4月、我が国における障害のある子どもの教育制度は、特殊教育から特別支援教育へと転換いたしました。この制度転換に伴い、本研究所も、名称を「独立行政法人国立特殊教育総合研究所」から「独立行政法人国立特別支援教育総合研究所」へ改めるとともに、我が国の特別支援教育のナショナルセンターとして、障害のある子どもの教育の充実を目指して活動を展開しています。

他方、国際的な動向としては、平成18年12月に国連総会で障害者権利条約が採択されるなど、教育制度はよりインクルーシブな方向に移行しつつあります。

我が国の特別支援教育に関する政策を検討する上では、諸外国の取組に関する情報を収集・分析することは不可欠であり、また、我が国の質の高い特別支援教育の取組についても諸外国に情報発信することが重要です。

このような状況において、国立特別支援教育総合研究所の国際交流事業では、①諸外国の研究機関との連携・協力、交流の推進による特別支援教育の国際的な情報発信センター機能の充実と、②特別支援教育の発展・充実に向けた国際貢献の推進を掲げて、その活動に取り組んでいます。

この国際的な情報発信センターの機能に位置づく取組として、諸外国における特別支援教育の制度や実践等に関する研究をまとめた「世界の特別支援教育(22)」を刊行しました。この「世界の特別支援教育」は、国立特別支援教育総合研究所が1987年より刊行してきました「世界の特殊教育」の名称が変更されたものです。

「世界の特別支援教育(22)」では、第1部のセミナー等報告として、「第27回アジア・太平洋特別支援教育国際セミナー報告」「日本代表報告」「第7回日・韓特殊教育セミナー報告」を、第2部の国際会議・外国調査等の報告として、投稿及び依頼による報告など6報告を掲載しました。

「世界の特別支援教育(22)」に執筆いただきました方々に感謝するとともに、諸外国の特別支援教育に関する情報を共有し、新たな時代の特別支援教育の発展に資することを願っています。

平成20年3月

企画部国際比較担当
総括研究員

徳 永 豊

目 次

序 文	徳 永 豊	
第一部 セミナー等報告		
1. 第27回アジア・太平洋特別支援教育国際セミナー報告	笹 本 健	1
2. 第27回アジア・太平洋特別支援教育国際セミナー 日本代表報告 地域に根ざした学校 ー連携を紡ぐ。コミュニティーの再構築ー	松 村 勘 由・横 尾 俊	5
3. 第7回日・韓特殊教育セミナー報告	笹 森 洋 樹・小 林 倫 代・海 津 亜希子・玉 木 宗 久	11
第二部 国際会議・外国調査等の報告		
1. ICF及びICF-CYを巡る国際的動向 ーICF北米協力センター会議, ICF-CY会議及びWHO国際分類ファミリー会議の概要を中心にー	徳 永 亜希雄・田 中 浩 二	19
2. イギリスのロングウイル学校 (Longwill School, for the Deaf), トーマソン記念学校 (Thomasson Memorial School,for the Daef)及び バーミンガム (Birmingham) 教育委員会の調査訪問について	藤 本 裕 人	27
3. アジア・太平洋地域における知的障害教育と職業教育	徳 永 豊・木 村 宣 孝・小 塩 允 護	35
4. 韓国における特殊教育と健康障害教育の動向	滝 川 国 芳・西 牧 謙 吾	79
5. 2007年に開催されたOECDにおけるSENDDD (障害, 困難, 社会的不利を有する生徒) にかかる各国代表者会議報告	保 立 有希子・中 澤 恵 江	87
6. 教育におけるインクルージョンの国際比較 (2005年調査) ー障害のある子どものインテグレーション, 及びインクルージョンー	徳 永 豊・平成17年度国別対応チーム	93